

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	✓なし	計	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	60	5	0	35	0	100		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか。	70	5	0	25	0	100		
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境 ¹ になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	65	0	0	35	0	100	・コロナ渦で中に入ることができず、よくわからない。	・コロナ感染症対策として玄関前での対応にご協力いただきありがとうございます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	50	0	0	50	0	100	・写真や子どもの様子を見た限り、とても良い(楽しい)空間だと思う。	・活動に合わせて部屋の使い方や物の配置を考え、わかりやすく、活動しやすい環境に努めます。 ・安全に気持ちよく過ごせるよう、清掃、消毒、整理整頓をこまめに行います。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 ² が作成されているか。	95	5	0	0	0	100		
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	75	5	0	20	0	100		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	80	0	0	20	0	100		
	8	活動プログラム ³ が固定化しないよう工夫されているか。	55	10	0	35	0	100	・子どもが興味を持つように工夫されていると感じる。	・職員間で話し合い、子ども達の特性や興味に合わせた多様なプログラムを計画するようにしています。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	50	0	5	45	0	100		
	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	90	5	0	5	0	100		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。	90	5	0	5	0	100		・児童発達支援計画の説明を丁寧に行うよう、心掛けていきます。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・ミーティング ⁴ 等)が行われているか。	55	15	15	15	0	100	・コロナ渦で実施できないのは仕方がない。	・コロナが落ち着きましたら、検討させていただきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	✓なし	計	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか。	80	5	10	0	5	100		・課題への取り組みの様子を含めた日頃のお子さまの様子をお伝えできるよう努めていきたいと思えます。 ・ご希望いただければ面談も行います。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。	85	5	5	0	5	100		
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	30	10	25	30	5	100		
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。	70	5	5	15	5	100		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	85	0	5	5	5	100		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか。	75	0	10	10	5	100		
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか。	90	0	0	5	5	100		
非常時の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、保護者に周知、説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	55	0	5	35	5	100		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか。	60	0	0	35	5	100		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか。	80	0	5	10	5	100	・コロナの心配から休みが多くなっているが、とても楽しく通っている。	・今後もより良い療育の提供を目指し、スタッフ一同で取り組んでいきます。 ・まずは子どもたちに安心して楽しく来所していただける環境設定を行い、その中で個々のお子さまに合わせた学びができる活動を大切にしていきたいと思えます。
	23	事業所の支援に満足しているか。	80	10	0	5	5	100	・楽しく通わせてもらい感謝している。	

- 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。
- 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
- 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが望まれます。
- 「ペアレント・ミーティング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。